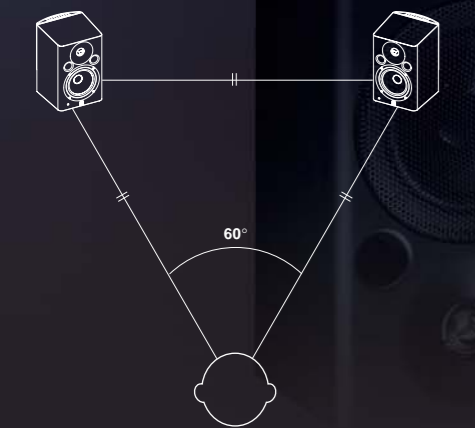


POWERED MONITOR SPEAKER
MSP7 STUDIO
MSP5 STUDIO
 POWERED SUBWOOFER
SW10 STUDIO



セッティング

ステレオではスイートスポットに



最も適したリスニングポイントは、スイートスポットと呼ばれます。スイートスポットとは、2台のスピーカーから自分の位置までの距離と、2台のスピーカー同士が同じ距離に設定された場所のことです。ですから、ステレオでもサラウンドのミキシングでも、メインフロントスピーカー2台と自分の位置(リスニングポイント)の3点で正三角形を作るようにします。また、60°の位置に設置した両方のスピーカーをリスニングポイントに直接向くように、内側に向けて設置してください。スピーカーの高さは、最も指向性の狭い高域が良く聞こえるように、ツイーターが大体自分の耳の高さに並ぶようにします。

サブウーファーを追加

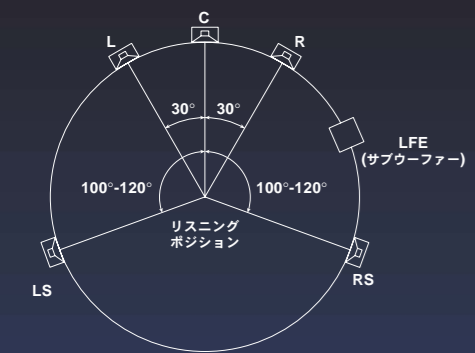
サブウーファーを加えると、2chのマスターミックス(ミックスダウン時のモニター)が、メインスピーカー2本の時に比べて圧倒的に良くなります。低域が十分に聞こえないと、良質なサウンドにすることができません。サブウーファーの優れた超低域再生は、ミックス全体の質を上げます。サブウーファーの位置は指向性が広いので、メインスピーカーのように決まった場所はありません。サブウーファーは約200Hz以下の低域を

再生するため、人間の耳ではこのような低域の方向を聴き分けることができません。理論的には、サブウーファーは部屋のどこに置いていても聞こえ方は変わりません。ただし正確なモニタリングをする上では、実際にはメインフロントスピーカーからリスニングポイントまでと同じ距離で、メインフロントスピーカーの間あたりの床にサブウーファーを設置することをおすすめします。

5.1サラウンドのセットアップ

5.1サラウンドのモニター環境を作るには、フロントステレオスピーカー2台、センタースピーカー1台、リアスピーカー2台にサブウーファー1台を加えた、合計6台が必要です。サラウンドのスピーカー数を示す「5.1」の「.1」とは、サブウーファーを示します。また、サブウーファー以外のスピーカーは、すべて同じスピーカーであることが望ましいです。

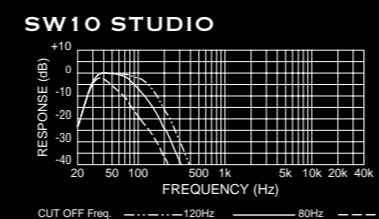
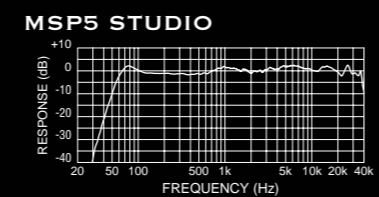
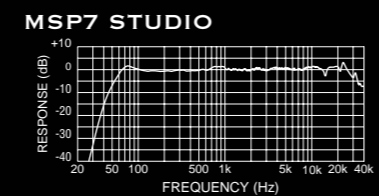
ITU(国際電気通信連合: International Telecommunications Union)が推奨する5.1サラウンドのセットアップでは、メインフロントスピーカー2台とリスニングポイントの3点で60°の正三角形を作るように設置します。センタースピーカーは、メインフロントスピーカー間の中間に設置します。メインフロントスピーカー同様に、リスニングポイントを中心とした同一円周上(メインフロントスピーカーよりちょっと後ろ)に設置します。リアスピーカー2台も、リスニングポイントからメインフロントスピーカーと同じ距離(同一円周上)に設置しますが、図のように、角度はセンターから見て100°と120°の間にします。サブウーファーについては、センタースピーカーとぶつからないようにセンタースピーカーの下側に置くのが理想の位置ですが、同一円周上でフロントの横に置いてかまいません。



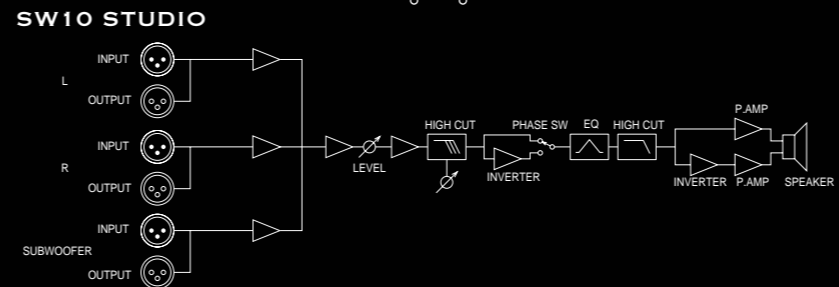
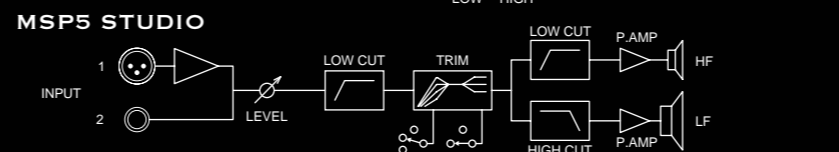
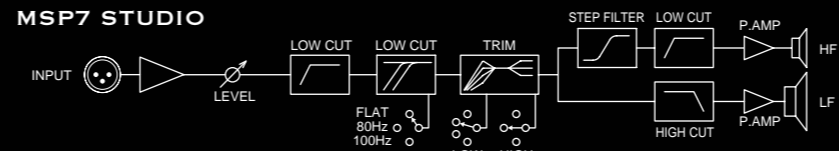
仕様

MODEL	MSP7 STUDIO	MSP5 STUDIO	SW10 STUDIO
一般仕様	形式: ハイアンプ方式、2ウェイ、パワードスピーカー 2.5 kHz / LF: 30 dB/oct, HF: 30 dB/oct 再生周波数帯域: 45 Hz - 40 kHz (-10 dB) 最大出力音圧レベル: 106 dB, 1 m on Axis 寸法: 218 x 330 x 235 mm 重量: 12.2 kg 防磁設計: ○	形式: ハイアンプ方式、2ウェイ、パワードスピーカー 2.5 kHz / LF: 24 dB/oct, HF: 24 dB/oct 再生周波数帯域: 50 Hz - 40 kHz (-10 dB) 最大出力音圧レベル: 101 dB, 1 m on Axis 寸法: 179 x 279 x 208 mm 重量: 7.9 kg 防磁設計: ○	パワード サブウーファー — — 25 Hz - 150 Hz (-10 dB) 111 dB, 1 m on Axis 328 x 459 x 476 mm 26.5 kg ○ (簡易防磁)
スピーカーセクション	スピーカーユニット: LF: 6.5" cone, HF: 1.0" Titanium dome エンクロージャー: 形式: バスレフ型, 素材: PP	スピーカーユニット: LF: 5" cone, HF: 1.0" Titanium dome エンクロージャー: 形式: バスレフ型, 素材: PP	— — 形式: バスレフ型, 素材: MDF
アンプセクション	定格最大出力: LF: 80 W / THD = 0.05%, RL = 4 Ω, HF: 50 W / THD = 0.05%, RL = 6 Ω S/N比(IHF-A Filter): ≥ 99 dB, LEVEL = Max 入力感度: XLR-3-31: +4 dBu, LEVEL = Center, -6 dBu, LEVEL = Max PHONE: — 入力端子・インピーダンス: XLR-3-31 (balanced), 10 kΩ 出力端子: — コントロール: LEVEL control: 31 Positions Detent type VR (Min = ∞ Attenuation), LOW CUT switch: FLAT/80 Hz (12 dB/oct) / 100 Hz (12 dB/oct), HIGH TRIM: +1.5/0/-1.5 dB at 15 kHz, LOW TRIM: +1.5/0/-1.5/-3 dB at 45 Hz, POWER switch: on/off, PHASE switch: —, LPF control: — 消費電力: 100 W	定格最大出力: LF: 40 W / THD = 0.02%, RL = 4 Ω, HF: 27 W / THD = 0.02%, RL = 6 Ω S/N比(IHF-A Filter): ≥ 94 dB, LEVEL = Max 入力感度: XLR-3-31: +4 dBu, LEVEL = Center, -6 dBu, LEVEL = Max PHONE: -10 dBu, LEVEL = Center / -20 dBu, LEVEL = Max 入力端子・インピーダンス: XLR-3-31 (balanced), 10 kΩ, PHONE (unbalanced), 10 kΩ 出力端子: — コントロール: LEVEL control: 31 Positions Detent type VR (Min = ∞ Attenuation), LOW CUT switch: FLAT/80 Hz (12 dB/oct) / 100 Hz (12 dB/oct), HIGH TRIM: +1.5/0/-1.5 dB at 15 kHz, LOW TRIM: +1.5/0/-1.5/-3 dB at 60 Hz, POWER switch: on/off, PHASE switch: Normal/Reverse, LPF control: — 消費電力: 60 W	180 W / f = 100 Hz, THD = 1%, RL = 8 Ω — ≥ 100 dB, LEVEL = Max +4 dBu, LEVEL = Center -6 dBu, LEVEL = Max — XLR-3-31 x 3 (balanced), 10 kΩ Parallel connection with Input Center Click VR (Min = ∞ Attenuation) — — — — on/off Normal/Reverse 40-120 Hz, 80 Hz at Center Click 160 W

周波数特性



ブロックダイアグラム



●本カタログに記載の社名・製品名等は、各社の商標または登録商標です。 ●本カタログに印刷された商品の色調は、実際の商品と多少異なる場合があります。
 ●本カタログに記載の商品の価格はすべてメーカー希望小売価格で税込み金額を表示しています。 ●本カタログに記載しておりますすべての商品のメーカー希望小売価格には、配送・設置調整費、工事費、使用済み商品の引き取り等は含まれておりません。

<p>【使用に関するお願い】</p> <p>●実際に商品をご使用になる前に、取扱説明書に記載されている使用上の注意及び危険防止に関する注意事項をよくお読みください。また、ご購入の際は、必ずお読みください。</p>	<p>【保証書に関するお願い】</p> <p>●保証書が添付されている商品については、店名、ご購入日等の記載を確認の上、大切に保存してください。システム一括購入の場合は、契約時に保証書の扱いについて販売店と必ずご相談ください。</p>	<p>【その他付記事項】</p> <p>●仕様、外觀および価格などは改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。</p>
---	--	---

このカタログについてのお問い合わせは下記にご相談ください。

お客様お問い合わせ窓口
プロオーディオ・インフォメーションセンター
 (電話受付=祝祭日を除く月~金/11:00~19:00)

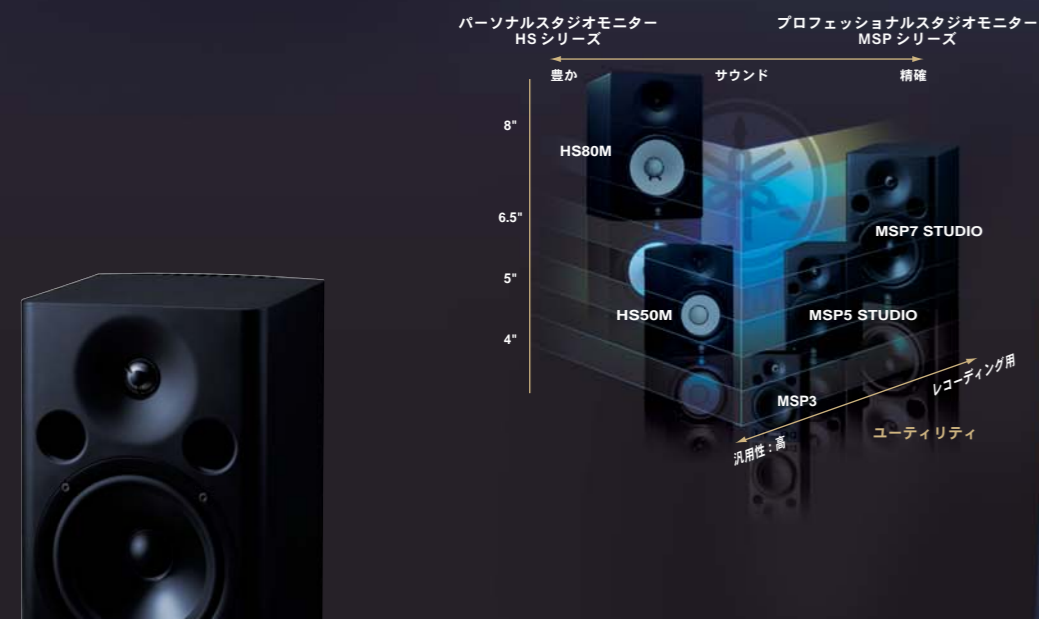
●TEL. (03)5791-7678 ●ONLINE Support: <http://proaudio.yamaha.co.jp>
 ●FAX. (03)5488-6663

ヤマハ株式会社
 PA・DMI事業部 MP推進部 マーケティンググループ
 〒430-8650 静岡県浜松市中央区10-1

<p>●CA営業部</p> <p>東京 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-5480 大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9 (心斎橋プラザビル東館) TEL. 06-6252-5405 名古屋 〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-232-5744 営業推進グループ 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-5472</p>	<p>●LM営業部</p> <p>東京 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-5471 大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9 (心斎橋プラザビル東館) TEL. 06-6252-5231 名古屋 〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-201-5199</p>
--	---

Refined Monitoring Precision

MSP STUDIO シリーズは、ニアフィールドモニターのデファクトスタンダードである「NS10M STUDIO」を開発したヤマハスタジオモニター開発チームによるリファレンスモニターです。その名が冠する「STUDIO」には、ニアフィールドモニターに求められる原音に忠実な再生能力を徹底的に追求し、確かな音像定位と高解像度/フラットな特性を得たという意味があり、リファレンスモニターの最上位であるという称号がつけられました。昨今のハイビット録音・マルチメディアコンテンツ制作などがレコーディングスタジオの制作作業の中心となり、より高品位なニアフィールドモニターのニーズがますます高まっている中、プロ用スタジオモニター設計のノウハウと技術を惜しむことなく投入し、フラッグシップにふさわしい圧倒的な完成度を実現しました。



MSP7 STUDIO POWERED MONITOR SPEAKER

メーカー希望小売価格 ¥66,150
(本体価格 ¥63,000)

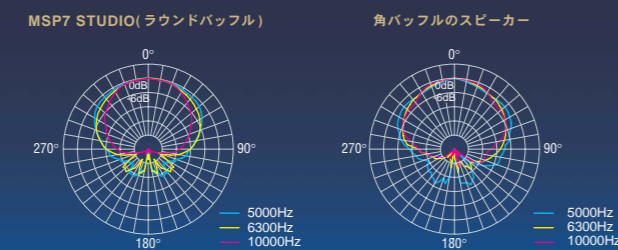
ニアフィールドモニターとして理想的な音質を実現したLF：6.5インチ、HF：1インチチタンドーム2ウェイパワードモニター

「MSP7 STUDIO」は中規模プロジェクトスタジオ環境に最適なパワードスタジオモニターです。スピーカーユニットは2ウェイのバスレフ型で、スムーズでレスポンスに優れたLF：6.5インチコーン、軽量で立ち上がりに優れたHF：1インチチタンドームを採用。この新設計のスピーカーをドライブするアンプ部はバイアンプ仕様の130W (LF：80W、HF：50W)のアンプリファイアを採用し、プロジェクトスタジオ環境に十分な出力を確保。各スピーカーユニットは、急峻なクロスオーバーフィルタースロープ (LF：30dB/oct、HF：30dB/oct)により最適化されており、使うアンプの違いや環境による音質の変化を気にすることなく、モニタリングに集中ができます。入力端子はXLRバランス端子を装備しています。

ニアフィールドモニターに求められる「精確」な再生能力を徹底的に追求したキャビネット構造

キャビネットは音響用プラスチックで厚肉一体成形を採用しました。従来のMDFキャビネットでは、バッフルと側板は接着剤で接合しており、キャビネットの振動はその接合面で不連続な動きとなりますが、一体成形を採用することにより振動はバッフルから側板へスムーズに伝わり自然な響きを実現しました。形状もラウンドバッフルを採用することで、音の回折による影響を低減し自然な波面を形成することで、精確な音場を再現することを可能にしました。バスレフポートは前面に配置し、壁との近接による低域の増幅に悩まされることもありません。

ラウンドバッフルを採用した「MSP7 STUDIO」と角バッフルタイプの製品との周波数特性比較



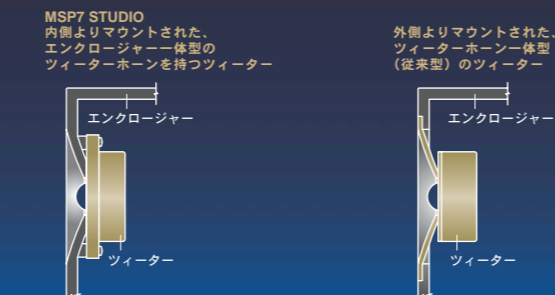
ウェーブガイドホーンの採用と
ハイレゾリューション/フラットレスポンス

ツイーター側に採用したウェーブガイドホーンは、平面波を球面波に変換する音響原理=「ウェーブガイド理論」に基づく理想的なホーン形状です。音の反射や相互干渉を最小限に抑制し、均一な円形指向パターンを実現。モニタリング・ポジションによる周波数特性の変化を解消し、音の歪みやカラーレションのない、クリアでナチュラルなハイファイサウンドを提供します。モニタースピーカーに求められる確かな音像定位と高解像度/フラットな特性。「MSP STUDIOシリーズ」はヤマハ・スピーカー技術の粋を集め、これらのソリューションを高次元に表現しました。また、DVDコンテンツ制作に代表されるハイビット/ハイサンプリング・レコーディングに対応すべく、幅広い再生帯域をカバー。豊かで力強い低域から40kHzの超広域までワイドに再生します。

細部にまで配慮した部品選定と組立て構造

スタジオをはじめ、様々なシチュエーションで作業を行うプロからリファレンスモニターとして高い信頼を得るためには、どの筐体でも同じサウンドを得ることができるばらつきのない、音質の均一さが重要なファクターとなります。「MSP7 STUDIO」は徹底したパーツの品質管理による均一なパーツクオリティ、長きにわたるスタジオモニター作りのノウハウを生かした最高グレードの組立て精度を実現しました。また構造的にもツイーターを内側からマウントし、キャビネットと一体化することでフレームの鳴きを減らし、フレームから発生する余分な音を排し、原音に忠実な音を再現しました。このように、高いビルドクオリティとそれを支えるスタジオモニター作りのノウハウが凝縮されたヤマハ「MSP7 STUDIO」は世界のあらゆるスタジオで、研ぎ澄まされたリファレンスサウンドを提供します。

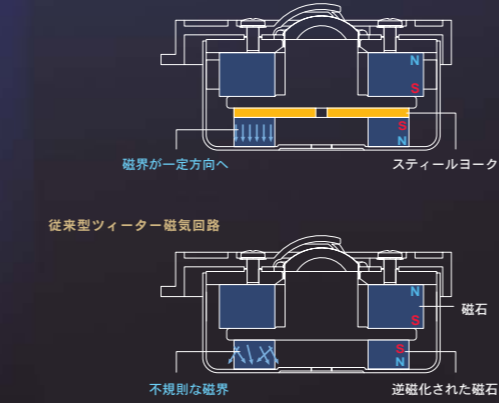
内側と外側のツイーターマウント



飛躍的な音質向上を実現した新型磁気回路

「MSP7 STUDIO」は、ポストプロダクションやマルチメディアコンテンツ制作はもちろん、DAWなどコンピューターベースの音楽制作に万全に対応する防磁設計。従来型の防磁技術は磁力線の方向が乱れて音が濁るなどの音に悪影響を及ぼす可能性がありましたが、「MSP7 STUDIO」では磁力線の方向をそろえることで、音の劣化を抑えながら防磁効果を実現する「Advanced Magnetic Structure」方式を採用することで、防磁効果と高音質を両立し、従来型と比較して飛躍的な音質向上を実現しました。

MSP7 STUDIO
Advanced Magnetic Structure 方式



プロ仕様にあふさわしい充実の端子類を備えたリアパネル

「MSP7 STUDIO」は、独特の形状にデザインされたヒートシンクをはじめ、リアパネルもプロ仕様。INPUTはXLRバランス端子を装備し、HI/LOWのTRIMスイッチにより各帯域での音質調整も万全。また、80Hz/100HzでのLOW CUTスイッチも装備し、サブウーファーと組み合わせたサラウンドソリューション、2.1ソリューションにも対応します。ACコネクタは脱着式を採用しました。



リアパネル



MSP5 STUDIO POWERED MONITOR SPEAKER

メーカー希望小売価格 ¥34,650
(本体価格 ¥33,000)

バイアンプ構成の高品位サウンドをコンパクトに凝縮したLF：5インチ、HF：1インチチタンドーム2ウェイパワードモニター

12cmウーファー&2.5cmチタンドームツイーターは前モデルを継承し、大型マグネットによる磁気回路を搭載した、専用スピーカーユニットを採用。ウーファーにはアルミボビンとロングボイスコイル、ツイーターには磁性流体を採用。日々の酷使に耐える高信頼性設計の強力ユニットです。特にツイーターには、音の立ち上がりが良く、分解能・耐久性に優れたチタンドームを採用。ウェーブガイドホーンがその性能をフルに引き出し、絶妙のコンビネーションを発揮します。パワーアンプ部は、ウーファー専用の40W/ツイーター専用の27Wの2基を搭載するデュアルアンプ構成。アンプ前の信号を内蔵アクティブ・クロスオーバーで分割し、それぞれの帯域ごとに専用パワーアンプで増幅するバイアンプ方式は、コイル抵抗などによるロスもなく、濁りや歪みのないクリアでダイナミックレンジの広いサウンドの再生が可能。「MSP7 STUDIO」同様の一体設計ならではのハイレベルなマッチングが、クラスを超えたスーパーリファレンス・サウンドを生み出します。



SW10 STUDIO POWERED SUBWOOFER

メーカー希望小売価格 ¥92,400 (本体価格 ¥88,000)

180Wの大出力アンプを内蔵したクイックレスポンスのパワードサブウーファー

25Hzの重低音を再生可能な新開発10インチウーファーユニットにより、豊かでレスポンスに優れた低音域の再生を実現します。サブウーファー用にチューニングされた低域専用180Wパワーアンプを搭載。超低域の再生も余裕のドライブを約束します。



リアパネル

DAWでのコンピューターベースの音楽制作に対応したコンパクト&防磁設計

限られたスタジオ・スペースを有効に活用できるコンパクト・ボディで、コンピューターベースのDAW音楽制作によるスタジオ環境のダウンサイジングに対応。新開発のラウンドシェイプのキャビネットの採用により、より高品位でリニアなサウンドを実現しました。さらに、シールドカバー方式の防磁設計とすることにより、パソコンなどの外部機器への干渉をパーフェクトに防ぎます。リアパネルには、バランス型のXLR端子とフォーン端子を併装し、ワイヤリングもスピーディー。また、サラウンド用のセンタースピーカーとしての利用にも配慮し、1台単位でお求めいただけます。

TRIMコントロール(LOW/HIGH)とブラケット用ネジ穴装備による幅広いアプリケーションへの対応

コントロールルームの環境、スピーカーの設置状況、モニタリングポジション、ミックスするソース特性などに応じた補正を実現するTRIMコントロールを搭載。LOW(4ポジション)、HIGH(3ポジション)の各コントロールにより、きめ細かなセットアップが可能です。本体底面にはM5ネジ穴(60 mmピッチ)を装備し、天井や壁に吊るしたり、市販のスタンドに立てて使用することができます。



リアパネル

3系統入力端子とTHRU端子、40 Hz～120 HzのLPP (ローパスフィルター)搭載により、サラウンドソリューションに万全に対応

入力にはXLR型端子を3系統用意。さらに、各入力にはTHRU端子も併装し、様々なモニター環境の構築が可能です。SW10再生帯域をコントロールするLPF (40Hz～120Hz:連続可変式)を標準装備し、サブウーファー用の信号が無い場合でも手軽にサブウーファーの追加が可能。DVDの再生(2.1、5.1など)やサラウンドモニタリングにも最適です。また、システムに合わせて位相を反転できるフェイズスイッチも搭載しています。